

# うるま市国民健康保険 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)

## 第3期特定健康診査等実施計画【中間評価実施】

### 概要版

#### 計画の趣旨

うるま市では、「被保険者の健康の保持増進」と「医療費適正化」を目的として、平成30年に、令和5年度までの6年を期間とする

「うるま市第2期保険事業実施計画(第3期データヘルス計画)」を策定し、保健事業を実施してきました。取り組みをより効果的・効率

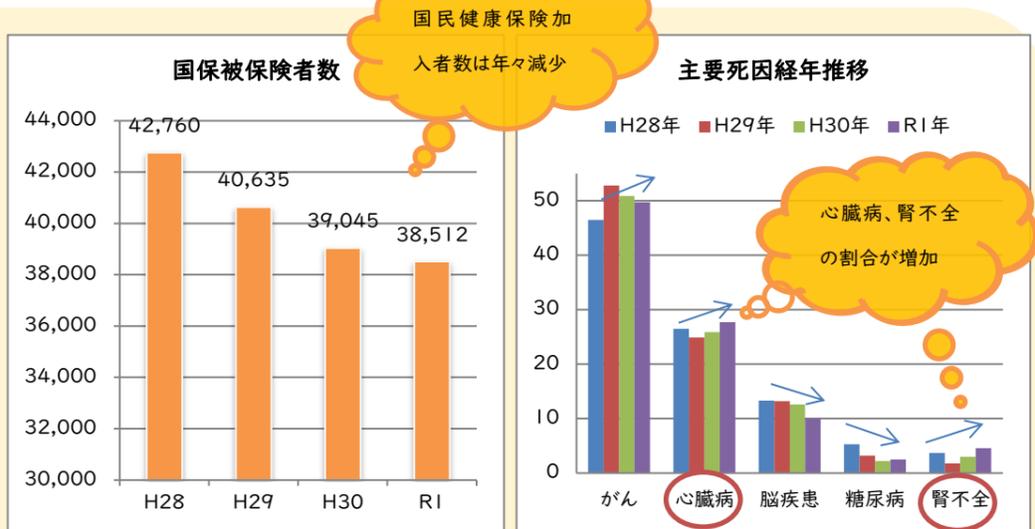
的に推進するにあたり、目標の達成状況や課題の整理を行うため、策定から3年後の令和2年度に中間評価を行いました。



#### うるま市の概要

人口	118,125人
被保険者数	38,512人
加入率	32.6%
被保険者における高齢化率	26.0%
被保険者総医療費	10,957,994,760円
被保険者1人あたり総医療費	284,535円

RI年度 KDB地域の全体像より把握



#### 医療費の推移

一人当たりの医療費は年々増加

総医療費と一人あたり医療費の推移



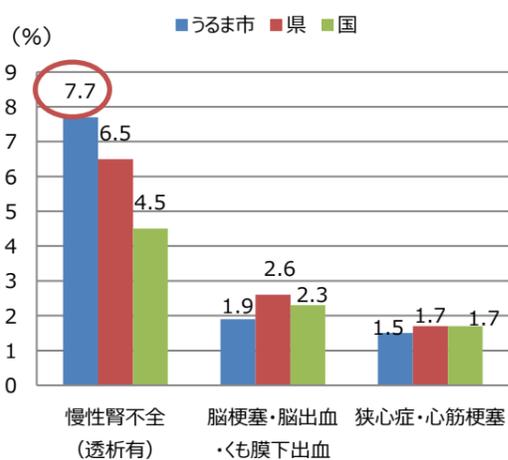
#### 【総医療費の内訳】

主傷病名	H28			H29			H30			RI			
	費用(円)	割合	順位	費用(円)	割合	順位	費用(円)	割合	順位	費用(円)	割合	順位	
1 統合失調症	1,068,908,910	9.7%	1	980,339,310	9.0%	1	慢性腎不全(透析あり)	811,378,040	7.6%	1	慢性腎不全(透析あり)	844,194,150	7.7%
2 慢性腎不全(透析あり)	1,030,725,270	9.3%	2	976,936,320	8.9%	2	統合失調症	688,124,000	6.4%	2	統合失調症	654,717,200	6.0%
3 糖尿病	449,558,690	4.1%	3	446,370,140	4.1%	3	糖尿病	411,654,120	3.9%	3	糖尿病	440,461,400	4.0%
4 高血圧症	374,099,570	3.4%	4	351,955,330	3.2%	4	うつ病	320,701,690	3.0%	4	関節疾患	348,194,290	3.2%
5 うつ病	364,822,250	3.3%	5	350,900,040	3.2%	5	関節疾患	310,117,650	2.9%	5	うつ病	325,872,750	3.0%
6 関節疾患	276,627,240	2.5%	6	281,597,950	2.6%	6	高血圧症	299,944,390	2.8%	6	高血圧症	290,812,220	2.7%
7 脂質異常症	207,784,360	1.9%	7	256,989,290	2.3%	7	大腸がん	219,550,650	2.1%	7	骨折	207,670,550	1.9%
8 大腸がん	191,139,500	1.7%	8	198,444,460	1.8%	8	骨折	190,000,400	1.8%	8	大腸がん	201,442,430	1.8%
9 骨折	170,940,800	1.5%	9	167,758,720	1.5%	9	脂質異常症	171,066,190	1.6%	9	脂質異常症	173,544,390	1.6%
10 狭心症	155,016,750	1.4%	10	150,431,710	1.4%	10	脳梗塞	150,381,140	1.4%	10	乳がん	150,243,250	1.4%

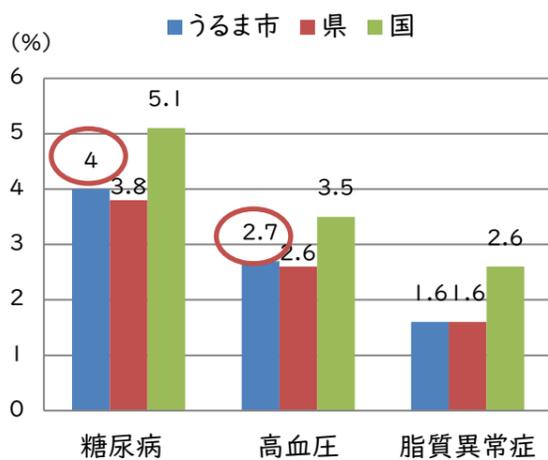
国民健康保険総医療費に占める割合が最も高い疾患は慢性腎不全(透析有)でH30年から1位

#### ターゲット疾患の医療費割合

##### 長期目標疾患(RI年度)



##### 短期目標疾患(RI年度)



慢性腎不全(透析有)の割合は、県、国よりも高いが、糖尿病、高血圧、脂質異常症の割合は国よりもかなり低い

- 早期に支援し、糖尿病等の重症化による透析導入を阻止する
- 血圧・血糖のハイリスク者へ重点的に指導を行う

特定健診受診



分析

- ・特定健診受診率は年々減少傾向
- ・R1年度からナッジ理論を用いた受診勧奨及びデータ解析の実施。国保新規加入者と通院中の方の未受診割合が多い
- ・他市に比べ、個別医療機関で特定健診実施割合が低い

課題と対策

- ・未受診者の状況に合わせ受診勧奨方法を工夫し、受診率向上を目指す
- 新規加入者に対してはチラシ配布とインセンティブ(Tポイント付与)の周知、治療中の方に対しては、トライアングル事業の案内を実施。データ解析に基づきタイプ別に受診を促すメッセージ(勧奨通知)を送付する

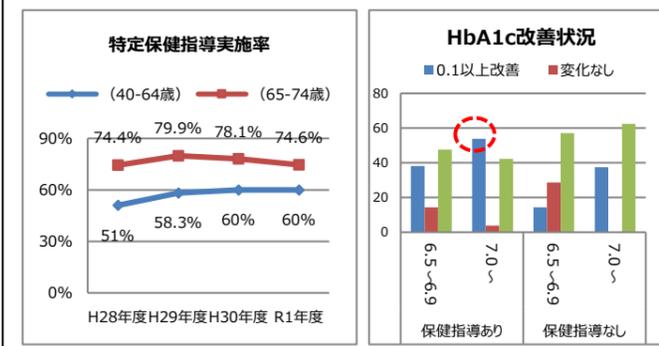
最終目標

特定健診受診率 60%

目指すところ

健康寿命の延伸・社会保障の安定

特定保健指導



分析

- ・特定保健指導率は60%を継続し達成
- ・働き世代(40~64歳)の特定保健指導実施率は向上
- ・特定保健指導利用者の翌年健診リピート率とHbA1c改善率は高いが、メタボリックシンドローム該当者は増加

課題と対策

- ・特定保健指導利用者の腹囲・体重の改善割合を増加させ、血圧・糖・脂質の項目での要医療者の受診率の向上を目指す
- 好事例等の指導内容や教材等の検証を重ね、指導マニュアルの改善や指導者のスキルアップを行う。効果的な集団指導や仲間づくり等を検討する

最終目標

特定保健指導率 60%以上の継続達成

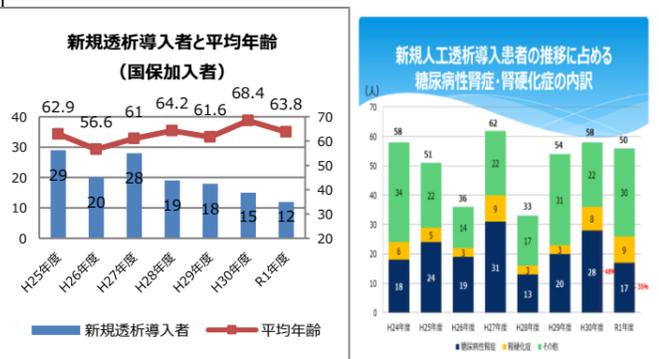
短期目標

重症化予防対象者の減少

中長期目標

脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症による透析の医療費を抑制する

重症化予防



分析

- ・国保加入者の新規人工透析患者数は減少
- ・新規透析導入者の約3割から4割は糖尿病性腎症が原因疾患となっている
- ・糖尿病性腎症の新規患者数は増加

課題と対策

- 糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者の「医療未受診者」と「治療中断者」が年々増加しており、対象者の優先順位を定め、確実に医療につなぐことを目指す
- 重症化リスクの高い者を抽出し管理台帳を作成し、継続的な支援を行う

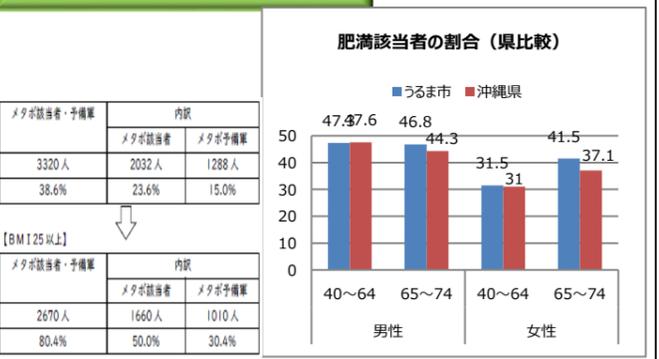
最終目標

糖尿病性腎症新規患者数の減少(患者千人あたり5%減少)  
糖尿病の未治療者の割合 10%未満に減少

短期目標

高血圧・脂質異常症・糖尿病・メタボリックシンドローム等の対象者の減少

健診受診有所見状況



分析

- 健診受診者よりメタボ該当者・予備軍の割合は約4割を占めており、その内、肥満度BMI25以上の割合は8割以上となっている
- ・肥満分類別の有所見状況では、耐糖能異常所見者が最も多い
- ・本市の肥満度BMI25以上の割合は沖縄県よりも高い

課題と対策

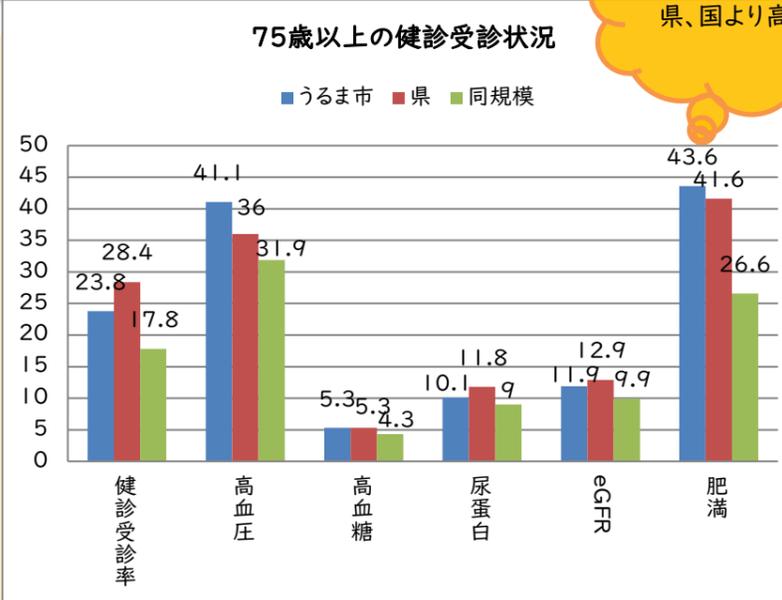
- ・特定健診の肥満該当者に対して、重症化リスクの高い集団にターゲットを絞り、減量や生活習慣改善に向けた対策を行い、代謝性疾患や冠動脈疾患の予防を目指す
- 治療中の方も含め、肥満該当者の中で、HbA1c6.5以上又はCKD該当者を優先対象として重点的に指導を行う

最終目標

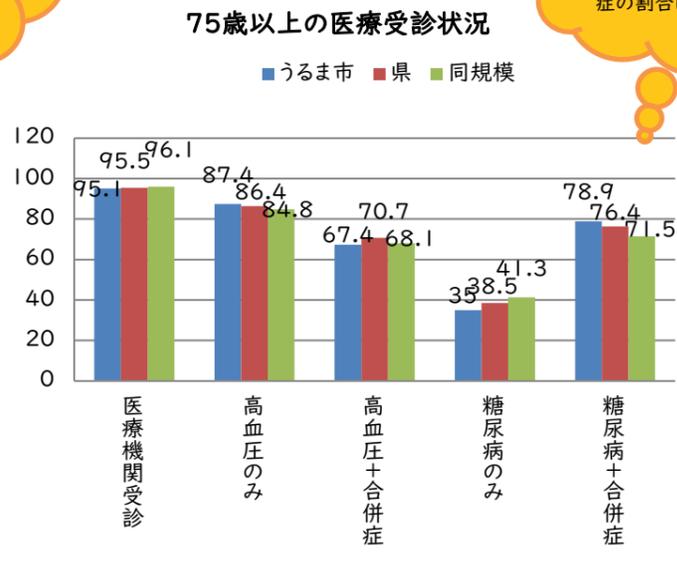
メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合を25%に減少

新たな課題を踏まえた目標値の追加①～④

①高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施



肥満の割合が  
県、国より高い



医療受診率は低い  
が、糖尿病+合併  
症の割合は高い

分析

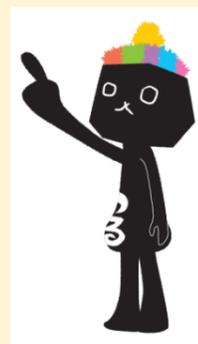
- ・健診受診率は23.8%で県よりも低い
- ・高血圧、高血糖、肥満の割合は県、同規模よりも高い
- ・高血圧のみの受診は県・同規模と比較して低いが、高血圧+合併症は低い
- ・糖尿病の受診は低いが、糖尿病+合併症の割合が県・同規模よりも高い

課題と対策

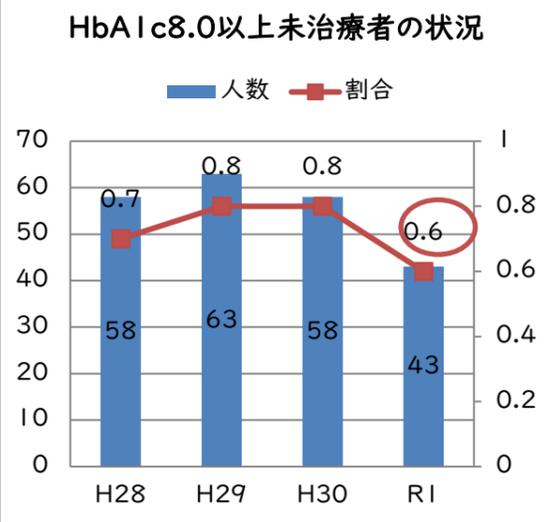
- ・若い頃からの生活習慣病、重症化予防に取り組み、75歳を過ぎても断絶することなく、継続した支援を行っていく
- 健康課題の分析を行い、糖尿病重症化予防、高血圧、CKD、心電図異常に着目した生活習慣病予防、低栄養についてハイリスクアプローチ（個別支援）を実施。またフレイル予防としてポピュレーションアプローチを実施する

最終目標

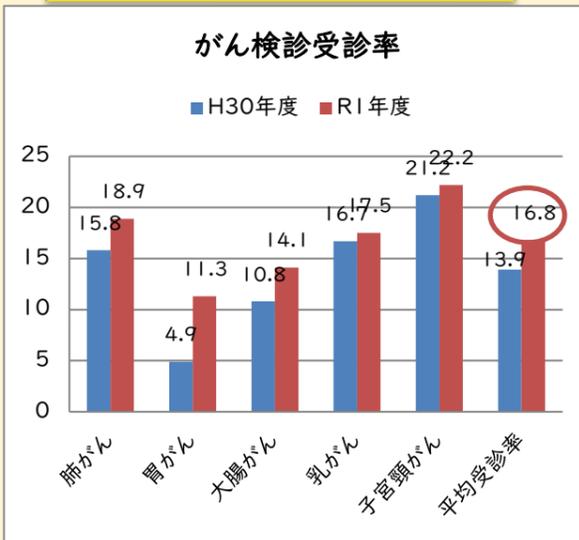
高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施



②健診受診者のHbA1c8.0以上の未治療者の割合の減少



③5つのがん検診の平均受診率 25%



④歯科検診の実施

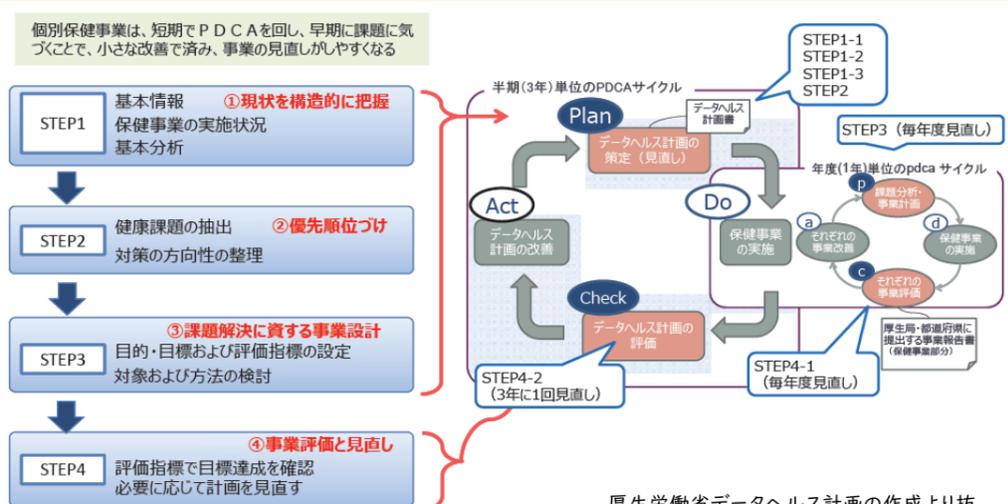
無歯科医地区である津堅島島民へ口腔衛生の知識の普及、予防、早期発見、早期治療を推進し、島民の健康増進向上を目的として実施する

評価

計画の評価

2023年度(令和5年度)に本計画に掲げた目標の達成状況の最終評価を行います。

【データヘルス計画のPDCA サイクル】



---

うるま市国民健康保険 第2期保健事業計画(データヘルス計画)

第3期特定健康診査等実施計画【中間評価】

概要版

発行年月日 令和3年3月

〒904-2214 沖縄県うるま市安慶名一丁目8番1号

うるま市役所 市民部 健康支援課

電話 098-973-3209

FAX 098-974-4040

---